

四中だより



市川市立第四中学校
学校だより No. 5
令和 2 年 9 月 1 日
校長 川又 和也

8月18日から2学期が始まりました。子どもたちにとっては、17日間という例年に比べて短期間の夏休みではありましたが、十分な休養を取ることができていましたか。

この夏休みは、梅雨明けとともに、いきなり真夏の厳しい暑さの日が続きました。そんな中、部活動では、中止となった総合体育大会の代わりに、3年生を中心とした競技ごとの交流大会等が開催されました。会場の関係で無観客の中での競技もありましたが、子どもたちは最後の舞台上で熱戦を繰り広げ、日常とはまた違った、粘り強く頑張る姿を垣間見ることができました。そこで今月と来月は、各部活動の顧問の先生方からの報告・メッセージ等を掲載いたします。



さて、このところ各地で、相当数の新規陽性者がでているなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が高止まりの状況です。学校においては、これまで同様、予防対策をしっかりと継続して取り組みながら、子どもたちの安全安心を確保し、今後も予想される感染拡大に向けての備えを進めてまいります。また、引き続き、学力の確保と一人ひとりの学習の定着度を丁寧に見極めて、子どもたちの「できた、わかった」につなげていけるような取組、そして、子どもたちの心に寄り添い、夏休み明けの学校生活に焦らず徐々に馴染んでいけるよう、心の安定を図ってまいります。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

有終の美・中学校生活最後の夏・・・今月は運動部の顧問の先生方からのメッセージです！

【野球部】 新人戦ベスト8という結果を残し、次は春季大会、そして総合体育大会へ向けてチームとしての形が出来つつあった中での休校。モチベーションを保つことが難しい中、最後の試合では、今まで練習してきた成果を一人ひとりが発揮し、1年間のベストゲームでした。気持ちを切らさず、最後まで戦い抜いたことを顧問として誇りに思います。この先の更なる飛躍を期待しています。

(山崎・遠藤)

【サッカー部】 新人戦予選敗退の悔しさをバネに技術の鍛錬はもちろん、戦術理解、コミュニケーションの強化を図って頑張ってきました。体は他のチームと比べて大きい方ではありませんでしたが、暑くても最後まで粘り強い守りに、個の特徴を生かした攻撃、ハーフタイムでの活発な話し合いもできるようになり、最後の交流戦では7得点2失点で首位をとることができました。この勢いで高校でも活躍してくれることを期待しています。(吉村・吉田・青木)

【男子バスケットボール部】 8月8日(土)から10日(月)にかけて千葉Bexに参加し、4校でリーグ戦を行いました。3年生は大きな大会が中止されていく中でも、日々の生活や練習を大切に、チームで戦う姿勢を後輩たちに示してくれました。特に大会当日は、コートに立っている5人、ベンチで控えているメンバー全員がどんな状況でも声を出しており、プレーが決まった時に喜んだ姿、うまくいかないときに励ましあった姿、試合で起こった事すべてが3年間そのものでした。「やれでやるより、やるでやる」をこれからも大切に。(竹本・谷口・後藤・干坂)

【女子バスケットボール部】 男子と同様に4校でリーグ戦を行いました。3年生は3年間の経験すべてをぶつけるべく、試合に臨みました。うまくいったこともあれば、そうでないときもありました。うまくいかないことのほうが多かったと思います。それでも誰一人あきらめることなく、最後のブザーが鳴るまでチームで戦うことができました。最後のあのブザービーターは一生忘れられないと思い

ます。「やれでやるより、やるでやる」を最後まで貫いた部活動でした。これからの学校生活でも「やるでやる」を大切に。(竹本・谷口・後藤・千坂)

【女子バレーボール部】総体がなくなり、交流試合という形に代わりましたが、すぐに気持ちを切り替え、交流試合を目標にチーム一丸となって日々の練習に取り組むことができました。交流試合では「全員バレー」を目指し、みんなで声を掛け、助け合いながら試合に臨むことができました。最後のミーティングでは多くの生徒たちが「このメンバーで2年間一緒に頑張れたことが大きな財産になった」と話してくれました。(友竹・近藤)

【男子テニス部】思い描いていた舞台とは違うものになってしまいましたが、引退試合を終え、みなさんは中学校の部活動を最後までやり遂げました。総体中止という、自分の力ではどうすることもできない壁にぶちあたりましたが、未来あるみなさんにはこれから多くの可能性があります。挑戦できる場がたくさんあります。だから、前を向くことができる。そう信じています。3年間お疲れ様。(高井・原)

【女子テニス部】総体に向け、新しいチームの形が完成しつつあった中、休校や総体の中止という状況にあたりました。引退試合は行いませんでしたが、今までひたむきに練習に励み、県大会に出場したり、結果を残すこともできました。これから皆さんにはたくさんの可能性があります。様々なことに挑戦していきましょう。お疲れさまでした。(増田・原)

【剣道部】7月26日(日)下貝塚中学校と夏季交流試合を行いました。市民大会で決勝戦を戦った仲です。当日の試合にはドラマがありました。公式戦で中々一本を取れなかった生徒が一本を取ったり、今までで一番良い動きを見せたり、流石の貫禄で感動的で応援したくなる試合を見せたりと、3年間の練習の成果をしっかりと見せてくれました。1・2年生に背中であげてくれた3年生に感謝しています。(宮崎・松本)

【陸上部】8月7日(金)浦安運動公園陸上競技場にて、市川・浦安支部チャレンジ記録会が行われました。女子のリレー1位を始め、多くの選手が入賞を果たしました。この3年生は、1年生の時は、結果が全く出ない選手でしたが、部長を中心に、日々の努力と高い目標を持ち、厳しい練習と顧問にも耐え、県大会の決勝まであと一歩まで近づくと、"努力"を積み重ねて結果を表した学年であり、顧問として誇りに思っています。(三好・野崎)

9月以降の主な行事予定!

- 9月 9日(水) 定例研
- 16日(水) 生徒会役員選挙
- 10月1日(木) 前期 期末テスト1日目
- 2日(金) 前期 期末テスト2日目



職員の転入について

7月22日に 近藤ひとみ 先生が産前休暇に入られ、代替職員として 鈴木 詩織 先生が着任されましたのでお知らせします。鈴木先生は、第1学年に副担任として所属し、1年生の英語、ひだまり学級の授業を担当します。また、女子バレーボール部の顧問も引き受けてくださいました。「早く四中のこと、皆さんのことをたくさん知りたいと思います。また、英語が好きな生徒が増えるように頑張ります。」とのメッセージをいただきました。

結びに

本校1年生2名の男子生徒の善行について、先日、地域の方から感謝のお手紙をいただきました。夏休みのある日、学区内において、自転車で転倒し大ケガをされたご老人に対し、本校生徒が第1発見者として、声をかけ、寄り添い、救急隊、警察官にも適切な対応をしてくれたとのことでした。コロナ禍のどんよりとした毎日の中、誰かのために人助けができる・・・心温まるお話を伺い、大変うれしく、また、誇らしく思いましたので紹介させていただきます。